

2022(令和4)年7月14日 報道発表資料  
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

## 2022年度 ロームシアター京都自主事業 ラインアップ追加のお知らせ

2022年3月に発表しました2022年度のロームシアター京都自主事業ラインアップに加えて、以下の事業の開催が決定しましたのでお知らせいたします。是非ご注目ください。

- 「タッチ ～ふれる、あそぶ、おどる～」 from イングランド
- 村川拓也「ムーンライト」
- 神里雄大／岡崎藝術座「イミグレ怪談」
- ステージ インキュベーション キョウト
  - ・ちっちゃい焚き火(薪ストーブ)を囲んで語らい、いろいろ焼いて食べる会(ホスト:小山田徹)
  - ・舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～
  - ・演劇スタジオM
- COCOON PRODUCTION 2022 ツダマンの世界

### ①『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう2』参加事業

プレイ!シアター in Summer 2022 ステージプログラム

#### 「タッチ ～ふれる、あそぶ、おどる～」 from イングランド



小さなこどもたちのためのダンスパフォーマンス。

DJの特別な音楽にあわせて、ダンサーとこどもたちがハイタッチやハグ、ダンスをして楽しめます。

イングランドを拠点に活動する2nd Hand Danceが世界中でツアーをしている本公演は、ダンスを通してこどもとおとなが共感し、遊び、探索的な動きを楽しみ、世代を超えてつながります。

[日時]2022年8月4日(木)～6日(土) 各日2回公演

10:00 開演-乳児(1カ月～およそ18カ月)対象公演、静かで優しいバージョン/歩きはじめる前のこどもたち

13:00 開演-幼児(およそ1歳～3歳)対象公演、元気で楽しいバージョン/歩くこと・動くことが大好きなこどもたち

[会場]ロームシアター京都 ノースホール

[料金]全席自由/おとな1,000円、こども300円【チケット発売中※5日13:00公演・6日13:00公演はこども券完売(7/13時点)】

### 2nd Hand Dance

2nd Hand Danceは障害を持つ人がメインでクリエイティブな役割を持った組織として、おとな・こども・誰もが一緒に踊ることのできるダンスを創作し、劇場、美術館、図書館、屋外等、様々な場所で観客が自由に参加して楽しめる作品を上演しているダンスカンパニーです。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、公益財団法人全国公立文化施設協会

後援:京都市教育委員会、公益社団法人京都市保育園連盟、公益社団法人京都市私立幼稚園協会

協力:国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ(りっかりっか\*フェスタ)、株式会社コングレ

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、山形

電話:075-771-6051(10:00～17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

②『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう2』参加事業  
村川拓也「ムーンライト」



2018年に[\[ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業 地域の課題を考えるプラットフォーム CIRCULATION KYOTO - 劇場編\]](#)において製作された村川の「ムーンライト」。村川との対話とピアノの発表会の形式をとった本作の主人公：中島昭夫が2021年に逝去したことを受け、主人公“不在”のかたちで上演する新たなバージョンで再演します。

[日程]2023年1月12日（木）

[会場]ロームシアター京都 サウスホール

[料金・チケット発売日]全席指定／一般 3,500円、ユース（25歳以下）2,000円、18歳以下1,000円【10月発売予定】

構成・演出：村川拓也

ドラマトウルク：林 立騎

声の出演：中島昭夫

出演（ピアノ演奏者）：伊東沙希子、ほか



村川拓也 Takuya Murakawa

演出家・映像作家。ドキュメンタリーやフィールドワークの手法を用いた作品を、映像・演劇・美術など様々な分野で発表し、国内外の芸術祭、劇場より招聘を受ける。1人のキャストとその日の観客1人を舞台上に招き、介護する／されることを舞台上に再現する『ツァイトゲバー』はシンガポール、ドイツなど国内外で上演を重ねている。虚構と現実の境界に生まれる村川の作品は、表現の方法論を問い直す

だけでなく、現実世界での生のリアリティとは何かを模索する。主な作品に、『ムーンライト』（ロームシアター京都「CIRCULATIONKYOTO-劇場編」2018、フェスティバル/トーキョー20）、

『Pamilya（パミリヤ）』（キビるフェス2020）、『事件』（大学開学30周年・劇場20周年記念公演 京都芸術劇場春秋座）など。2016年には東アジア文化交流使（文化庁）として中国・上海／北京に滞在。京都芸術大学映画学科非常勤講師。第21回AFF戯曲賞にて、『事件』が特別賞を受賞。

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市、公益財団法人全国公立文化施設協会  
文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業（コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業）

※2022年12月下旬に同じく村川拓也演出の舞台作品「Pamilya（パミリヤ）」をノースホールで上演します。詳細は[こちら](#)

③『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう2』参加事業  
神里雄大／岡崎藝術座「イミグレ怪談」



神里雄大／岡崎藝術座『ニオノウミにて』(2019年)  
撮影：井上嘉和 提供：KYOTO EXPERIMENT 事務局

第62回岸田國士戯曲賞を受賞し、移動し越境する人々をテーマにした作品を発表する劇作家・演出家の神里雄大による劇団・岡崎藝術座、3年ぶりの京都新作公演！

[日程]2023年1月28日(土)、29日(日)

[会場]ロームシアター京都 ノースホール

[料金・チケット発売日] 全席自由

一般 3,500 円、ユース (25 歳以下) 2,000 円

18 歳以下 1,000 円【10 月発売予定】

作・演出：神里雄大



神里雄大 Yudai Kamisato

1982 年生まれ。劇作家、舞台演出家として活動。2006 年、『しっぽをつかまれた欲望』(作：パブロ・ピカソ) で利賀演出家コンクール最優秀演出家賞受賞。2018 年、『バルパライソの長い坂をくだる話』で第 62 回岸田國士戯曲賞受賞。国内外の舞台芸術フェスティバルへ招聘多数。平成 28 年度文化庁新進芸術家海外研修員として 2016 年 10 月から 2017 年 8 月までアルゼンチン・ブエノスアイレスに滞在。著書に戯曲集『バルパライソの長い坂をくだる話』(2018 年、白水社)、『越えていく人 南米、日系の若者たちをたずねて』(2021 年、亜紀書房)。

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、公益財団法人全国公立文化施設協会

製作：岡崎藝術座

共同製作：那覇文化芸術劇場なはーと

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

#### ④-1 ステージ インキュベーション キョウト

ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語らい、いろいろ焼いて食べる会（ホスト：小山田徹）



全国各地でカフェや迎え火などのプロジェクトをアートとして実践する小山田徹（アーティスト）をホストに迎え、共有空間としての“焚き火”をおこないます。10月の毎週末に、ロームシアター京都の中庭ローム・スクエアにて、みんなで小さな薪ストーブを囲み、語らい、“縁食（※）”する空間を設けます。原始的な「火」を囲みながら、焼き芋をしたり、ドリンクを片手に語りあったりと、同じ時間と食を共有することで、肩書や身分、所属を問わず、誰もが自律的かつゆるやかに集える場を創出します。

▶小山田徹による文章「焚き火について」は[こちら](#)

※本企画は、今年2月にロームシアター京都の自主事業として開催された、小山田徹と食農思想史研究者・藤原辰史の対談企画【[「いま」を考えるトークシリーズ Vol.19「縁食」のススめーゆるやかに集うコミュニティの可能性](#)】での対話をきっかけとして立ち上げられたものです。藤原氏は著書『縁食論―孤食と共食のあいだ』（ミシマ社、2020年）において、食を通じた人と人の結びつきや場の新たなあり方を「縁食」（えんしょく）と名付け、その可能性を提唱しています。トークレポートは[こちら](#)

[日時] 2022年10月 ①8日（土） ②15日（土） ③22日（土） ④30日（日）  
各日 17:30～20:30

[想定参加人数]: 1回につき 70名（焚き火 10か所）

[会場] ロームシアター京都 ローム・スクエア

[料金] 無料・申込不要

企画監修：小山田徹



小山田徹 Toru Koyamada

アーティスト。1961年鹿児島に生まれる。京都市立芸術大学日本画科卒業。84年、大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。ダムタイプの活動と平行して90年から、さまざまな共有空間の開発を始め、コミュニティセンター「アーツケープ」「ウィークエンドカフェ」などの企画をおこなうほか、コミュニティカフェである「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加。日本洞窟学会会員。

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市、京都市立芸術大学、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会／文化庁統括団体によるアートキャラバン事業（コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業）  
「JAPAN LIVE YELL project」

協力：岡崎自治連合会、京都市京セラ美術館、深町加津枝（京都大学地球環境学堂）、藤原辰史（京都大学人文科学研究所）、南寛、みんなのミシマガジン編集部（株式会社ミシマ社）

▶実施にあたり、この小さな共有空間の中心となる「火」を管理し、場をともに作りあげるサポートを務めていただくボランティアスタッフ「火守」を募集します。

詳細は[こちら](#)（応募締め切り：8月19日（金）消印有効）



#### ④-2 ステージ インキュベーション キョウト 舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～

地域の舞台芸術のプロデュース／企画制作領域の専門人材の育成プログラム。強力な講師陣を迎え、舞台芸術プロデュース、舞台制作、マネジメントに関する講座とワークショップを開催します。

おもにユース層に向けて、地域で活動する演劇サークルや若手劇団を中心としたネットワーク構築、コロナ禍からの活動再開を促し、パワーを喚起することで、舞台芸術シーンの活性化及び地域の文化芸術振興を目指します。

[期間] 2022 年 10～12 月 全 8 回 + プレ企画 + 番外編

[会場] ロームシアター京都ほか京都市内

[対象] 舞台プロデュース、マネジメントに興味を持っている人。舞台制作業務に携わっている人。自身の団体で運営・企画に携わっている人。18 才以上。経験不問。

※「通し受講」については、講座日に概ね参加できる人。

※オンライン受講は予定しておりません。

[定員] 通し受講：20 名（申込多数の場合は抽選） 単発受講：各回 30 名程度（先着順）

[受講料] 通し 3,000 円（初回納入）、単発受講 1 回 500 円

[申込期間] 2022 年 8 月 19 日(金)～9 月 27 日(火)

[講師(五十音順)] ★ロームシアター京都職員

井神拓也(ヨーロッパ企画)、植松侑子(syuz'gen/Explat)、あごうさとし(THEATRE E9 KYOTO)、中野コナン(安住の地)、橋本裕介★、本郷麻衣(木ノ下歌舞伎)、丸井重樹★、宮崎刀史紀★、矢作勝義(穂の国とよはし芸術劇場 PLAT)、山本麻友美(京都市文化政策コーディネーター)、横堀ふみ(NPO 法人 DANCE BOX)

[ワークショップファシリテーター] 渡邊裕史 (ソノノチ)

#### ■ プレ企画

[ノイマルクト劇場 & 市原佐都子/Q「Madama Butterfly」](#) 関連企画「ドラマトゥルクの仕事」

[日程] 2022 年 9 月 17 日(土) [受講料] 無料・要事前申込

[講師] Tine Milz(ノイマルクト劇場)

#### ■ 番外編

舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM) 連携企画「Next Producers Meeting in 京都」

[日程] 2022 年 10 月 18 日(火) [受講料] 無料・要事前申込

[登壇者] 坂本もも(ロロ、範宙遊泳)、谷陽歩(syuz'gen)、吉岡ちひろ(劇団なかゆび)、ジュリエット・礼子・ナップ(KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター)、渡邊裕史 (ソノノチ)

主催：舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、KYOTO EXPERIMENT、NPO 法人京都舞台芸術協会、京都市、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会／文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業（コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業）「JAPAN LIVE YELL project」

協力：舞台芸術制作者オープンネットワーク ON-PAM

#### ④-3 ステージ インキュベーション キョウト

##### 演劇スタジアム

ローム・スクエア内に出現する、建築家・岩瀬諒子設計による公共空間としてデザインされたスペースを舞台に、京都で活躍する20代～30代前半の若手劇団やアート・コレクティブグループによるパフォーマンスの連続上演を開催します。ホール内での鑑賞とはまた異なる、新鮮かつ臨場感あふれる刺激と体験を演出します。

[日時] 2022年9月23日(金祝)～25日(日)

[会場] ロームシアター京都 ローム・スクエア内 特設エリア

[料金] 一般 2,000 円、ユース(25歳以下) 1,000 円、18歳以下 500 円 ※当日券各 500 円増

1日通し券(前売のみ): 一般 3,000 円、25歳以下 1,500 円

※2022年8月13日(土)チケット一般発売開始

[参加団体(五十音順)]

演劇企画モザイク(京都学生演劇祭2021大賞受賞団体)、劇団なかゆび、幻灯劇場、レトロニム

主催: ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会  
文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)「JAPAN LIVE YELL project」

協力: 京都学生演劇祭実行委員会

#### ⑤COCOON PRODUCTION 2022『ツダマンの世界』

シアターコクーン芸術監督・松尾スズキの新作書き下ろし作品。

日本の昭和初期から戦後を舞台に、主人公の小説家・津田万治こと「ツダマン」を中心とした小説家たちの濃密な愛憎劇を描きます。

[日時] 2022年12月下旬

[会場] ロームシアター京都 メインホール

[料金・チケット発売日] 未定

作・演出 松尾スズキ

出演: 阿部サダヲ、間宮祥太朗、江口のりこ、村杉蟬之介、笠松はる、見上愛、町田水城、井上尚、青山祥子、中井千聖、八木光太郎、橋本隆佑、皆川猿時、吉田羊

主催: サンライズプロモーション大阪

共催: ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当: 松本、山形

電話: 075-771-6051(10:00～17:00) FAX: 075-746-3366 E-mail: press@rohmtheatrekkyoto.jp